

(1) 茶臼岳（那須町）

茶臼岳は、那須高原にそびえる那須連峰（茶臼岳、朝日岳、三本槍岳、南月山、黒尾谷岳）のうち、現在でも噴煙を上げる活火山であり、那須のシンボリックな存在となっている。

茶臼岳は9合目までロープウェイで結ばれ、安全に登山を楽しむことができ、夏休み中や紅葉の見頃の9月下旬～10月下旬には、多くの人が訪れる。



(写真：磯 忍氏 平成11年10月)

図 5-2 那須連峰（中央が茶臼岳）



(平成17年7月)

図 5-3 茶臼岳の山頂の様子

(2) 温泉（那須町、那須塩原市、那珂川町、さくら市）

上流部の山岳地帯から中流部にかけて、那珂川流域では多くの温泉が湧出し、那須温泉郷、塩原温泉郷、板室温泉、三斗小屋温泉、馬頭温泉、喜連川温泉等の古くから知られている。

那須温泉郷には、茶臼岳の山麓に点在する8つの温泉地があり、この中で那須湯本温泉にある鹿の湯は1,300年以上の歴史を持つ。周辺的那須高原には別荘やレジャー施設等が多く見られ、この一帯は栃木県を代表する観光地となっている。



(写真：とちぎ百景写真工房)

図 5-4 那須温泉郷

支川の箒川沿いには、栃木県有数の大温泉郷である塩原温泉郷がある。塩原温泉郷は昔から多くの文豪に愛され、尾崎紅葉の『金色夜叉』はこの地で生まれ、夏目漱石、芥川龍之介、谷崎潤一郎等の文学碑も点在している。



(写真：磯 忍氏 平成17年11月)

図 5-5 箒川と塩原温泉街